

板橋区水泳連盟の沿革

オリンピックの歴史	年	板橋区水泳連盟の沿革	区民大会
第 14 回ロンドン五輪	1948	・第 1 回区民水泳大会開催(8/15) 都民大会へ派遣	第 1 回
・戦争責任国として招待されず	1949	・板橋区水泳連盟結成(会長北原将弘氏)	
	1950		
	1951		第 2 回
第 15 回ヘルシンキ五輪	1952		
・日本は戦後初めて参加	1953		
・古橋 400m自由形決勝 8 位	1954		
・橋爪四郎 1500m 銀メダル	1955		
第 16 回メルボルン五輪	1956		
・Murray Rose と山中毅の対決	1957	・水泳連盟再編成(板橋区水泳連盟創立) 会長 北原将弘氏	第 3 回
・古川勝 200m 平泳ぎで金	1958		第 3 回
・田中聡子 200m背、世界記録 13 回更新	1959	・板橋区水泳連盟会長に小松氏が就任 理事長堀口宏三氏就任	第 4 回
第 17 回ローマ五輪	1960	・板橋区水泳連盟会長に榎英久氏就任	第 5 回
・Murray Rose 400m 自由形で 2 連覇	1961		
・水泳陣不振	1962		第 7 回
	1963	・水泳講習会(講師:左近允正矩氏)	第 8 回
第 18 回東京五輪	1964	・台風のため区民水泳大会中止	
・Dawn Fraser 100m 自由形で 3 連覇	1965		第 9 回
・インドネシアと北朝鮮両選手団の帰国	1966		第 10 回
・水泳陣不振、木原美智子最年少出場	1967	・区立小豆沢体育館 50m プール完成 福島滋雄選手が開場式でデモ 以後、区民水泳大会は小豆沢で開催	第 11 回
		・初めて区民対象の水泳教室開催	
第 19 回メキシコ五輪	1968	・板橋区水泳連盟理事長に小島勇氏就任	第 12 回
・Debbie Meyer が 個人 3 種目制覇(200、400、800m 自)	1969	・区民体育大会水泳競技会とし開催回数と呼 び名を区民体育大会に統一。	第 22 回
・日本水泳陣惨敗	1970	・東京都体育優良団体表彰受賞 小林虎 東京都体育協会賞銅賞受賞 体協理事長	第 23 回 第 24 回
第 20 回ミュンヘン五輪	1972	・区体育指導員に、嶋北、吉田氏を推薦 ・親子教室など各種水泳教室開催 ・区主催勤労者・初心者講習会にて指導	第 25 回
・ゲリラが選手村襲撃			
・Mark Andrew Spitz が 7 種目で金			
・田口信教 100m 平泳ぎ金			
・青木まゆみ 100m バタフライで金			

オリンピックの歴史

年

板橋区水泳連盟の沿革

区民大会

第 21 回モントリオール五輪

日本水泳会惨敗(ほとんど予選落ち)
モントリオールが五輪で大赤字
アフリカの 22 カ国がオリンピックをボイコット
アメリカと東ドイツが水泳競技メダル独占

第 22 回モスクワ五輪

50 カ国近くがボイコット

第 23 回ロサンゼルス五輪

商業主義の発端
ソビエト連邦などの東欧諸国不参加
日本水泳界振るわず。メダルなし。

第 24 回ソウル五輪

鈴木大地 100m 背泳ぎ金
女王ジャネット・エバンス選手活躍
小谷実可子シンクロで銅

1973	・連盟理事長に吉岡豪丈氏就任	第 26 回
1974	・区立高島平温水プール完成 ・須田久蔵氏が区体育協会功労賞受賞	第 27 回
1975	・板橋区水泳連盟会長に小林保之氏就任 ・区主催の初心者教室(婦人、小中学生、社会人等)が実施される。	第 28 回
1976	・冷夏で区民大会の開会時間遅れる。 ・「日刊ロードレース」に協力 ・吉岡豪丈氏が区体育協会功労賞受賞。	第 29 回
1977	・区主催水泳記録会実施 ・青少年委員会事業に指導員派遣 ・区立加賀福祉園水泳教室に指導員派遣	第 30 回
1978	・猛暑で水不足に悩まされる	第 31 回
1979	・第 2 種水泳指導員講習会を実施	第 32 回
1980	・水連主催の水泳教室が始まる (幼児、小、中学校、母親、社会人対象)	第 33 回
1981	・板橋区肢体不自由児童水泳教室に協力 ・小林保之会長が区スポーツ功労賞を受賞 ・第 2 種水泳指導員講習会を実施 ・青少年高島平地区委員会水泳教室に指導員派遣	第 34 回
1982	・区体育協会が財団法人となる。	第 35 回
1983	・区主催水泳記録会実施 ・第 2 種水泳指導員講習会を実施	第 36 回
1984	・青少年高島平地区委員会水泳教室に指導員派遣	第 37 回
1985	・第 1 回板橋区マスターズ大会 兼都民大会 選手選考会実施 ・山本公章氏が区体育功労賞受賞	第 38 回
1986	・スポーツリーダー養成講習会実施 ・区立東板橋体育館完成 同プールで板水連主催水泳教室を開催	第 39 回
1987	・スポーツリーダー養成講習会実施 ・佐藤孝志氏が区体育協会功労賞を受賞	第 40 回
1988	・吉岡豪丈氏(体協)板橋区体育功労賞受賞	第 41 回
1989	・山家千文さんが日本選手権で 100m 平優勝	第 42 回
1990	・アシスタント指導員養成講習会実施 ・佐藤孝志氏が理事長に就任 ・「板橋区歩き歩き大会」へ参加、協力 ・板橋区マスターズ水泳大会実施	第 43 回

オリンピックの歴史

年

板橋区水泳連盟の沿革

区民大会

第25回バルセロナ五輪

岩崎恭子 200m 平泳ぎで金
奥野史子 シンクロで銅

第26回アトランタ五輪

日本水泳界 3 位以内入賞なし

第27回シドニー五輪

北島平泳ぎ 100m4位
女子選手活躍
中尾背泳ぎ 200m 銅
中村背泳ぎ 100m 銀
田島 400m個人メドレー銀
400mメドレーリレー銅
シンクロチーム銀

1991	・白岩宣一氏(水連)板橋区体育協会功労賞受賞	第 44 回
1992	賞 ・板橋区水泳連盟会長に須田久蔵氏が就任 ・指導員研究会実施	第 45 回
1993	・スポーツリーダー研修会実施 ・赤塚体育館プール完成 ・上板体育館プール完成	第 46 回
1994	・廣谷和子氏区体育協会功労賞受賞	第 47 回
1995	・水泳教室を22から44教室の拡大 ・ワンポイント水泳指導員の派遣開始	第 48 回
1996	・着衣泳指導法講習会実施 ・板橋区水泳記録会実施	第 49 回
1997	・区体育館4館で着衣泳教室実施 ・都民体育大会:女子優勝、男子 6 位 ・連盟登録者100名を超える ・板橋区水泳連盟理事長に山本公章氏就任 ・吉岡豪丈氏が都体育協会体育功労賞受賞 ・板橋区水泳連盟が都体育団体表彰受賞 ・泉山能子氏が区体育協会功労賞受賞	第 50 回
1998	・環境庁主催「ぜんそく児水泳フェスティバル」に協力。鹿島瞳さんデモスイム。 ・白岩宣一氏(水連)区体育功労賞受賞 ・桑山登氏(水泳)区体育功労賞受賞 ・区主催初心者水泳教室、連盟主催教室ともに定員を上回る応募	第 51 回
1999		第 52 回
2000	・菊地梢子氏が区体育協会功労賞受賞 ・前川紀子氏(水泳選手)板橋区体育功労賞受賞	第 53 回
2001	・森田義廣氏が区体育協会体育功労賞受賞 ・柳川フヂ子氏が板橋区体育協会功労賞受賞 ・板橋区水泳連盟理事長に桑山登氏就任 ・区委託事業の初心者水泳教室を「水泳教室」	第 54 回
2002	に名称変更 ・都民大会女子チームが 3 位 ・区民大会の壮年の部 10 歳刻みに細分	第 55 回
2003	・渡辺和子氏が区体育協会功労賞受賞 ・アクアサイズ指導者研修会実施	第 56 回
2004	・高齢者のための泳法第 1 回研修会実施	第 57 回

第28回アテネ五輪

日本水泳陣活躍
北島 康介 100m、平 200m平泳ぎで金
柴田 亜衣 800m 自由形で金
山本 貴司 200m バタフライで銀

第29回北京五輪

マイケル・フェルプス史上初の五輪8冠達成
北島康介2大会連続平泳ぎ2冠
レーザーレーサー着用選手がメダルラッシュ

年	板橋区水泳連盟の沿革	区民大会
2005	<ul style="list-style-type: none"> ・板橋区水泳連盟会長に若林清氏就任 ・時任則子氏区体育功労賞受賞 ・志村消防署より「救急講習会に積極的に取り組む団体」として表彰を受ける。 	第58回
2006	<ul style="list-style-type: none"> ・若林清氏区体育協会功労賞受賞 ・桑山登氏(水泳)板橋区体育功労賞受賞 	第59回
2007	<ul style="list-style-type: none"> ・板橋区水泳連盟理事長に森田義廣氏が就任 ・藤田喜智雄氏が区体育協会功労賞受賞 ・創立50周年記念行事開催 ・小豆沢体育館プール閉鎖 	第60回
2008	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者研修会を10回開催 ・高島平プールの施設不良で教室が2ヶ月間中断 ・区民大会を赤塚体育館にて開催 ・渡邊美禰子氏が区体育協会功労賞受賞 ・メタボリックシンドローム研修会 講師 健康運動指導士 松本弘氏 ・関節と水泳について研修会 講師 理学療養士 田中直樹氏 	第61回
2009	<ul style="list-style-type: none"> ・日本泳法研修会 講師 太田派範士 松岡壽々子氏 ・志村消防署より「救急行政への貢献」で感謝状を受ける。 ・光定智子氏が区体育協会功労賞受賞 ・指導者研修会を10回開催 	第62回
2010	<ul style="list-style-type: none"> ・高島平温水プール改修工事に伴い月曜日水泳教室は休会となる。 ・森田義廣氏が板橋区スポーツ功労賞 ・井上悦子氏が体育協会功労賞受賞 	第63回
2011	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災に伴い災害時における対処法について研修会 ・東洋大学スポーツセンターにて(長水路大会再開) ・吉田君江氏が区体育協会功労賞受賞 ・高島平温水プール改修工事終了、月曜日教室再開 ・桜井美智子氏が志村消防署より感謝状 授与。心肺停止状態の女性への適切な救護処置を行ったことによる 	第64回

第30回ロンドン五輪

- 鈴木聡美 100M 平泳ぎ 3 位
- 寺川綾 100M 背泳ぎ 3 位
- 星奈津美 200M バタフライ 3 位
- 入江陵介 100M 背泳ぎ 3 位
200M 背泳ぎ 2 位
- 松田丈志 200M バタフライ 3 位
- 立石諒 200M 平泳ぎ 3 位
- 荻野公介 400M 個人メドレー 3 位
- 男子4×100M メドレーリレー 2 位
- 女子4×100M メドレーリレー 3 位

2012

- ・東洋大学スポーツセンターにて
区民体育大会開会式
- 第64回優勝チーム 志村五中 選手宣誓
- ・研修会「プールにおける救助法」
日赤 篠原昇一氏
- ・研修会「競技会運営について」
都水協・競技委員長 藤森克悦氏
- ・日刊ロードレース走路員派遣
- ・板橋 city マラソンのお手伝い

第 65 回

2013

- ・東洋大学総合スポーツセンターにて
444名、30団体の参加。大会新28個。
- ・研修会「教室運営のしくみ」「水泳指導とは」
- ・研修会「普通救命講習」
- ・水泳連盟体育協会功労者団体として受彰
- ・菊地梢子氏が板橋区スポーツ功労賞受賞
- ・67回都民体育大会夏季大会水泳競技会
総合4位
- ・研修会「水上安全法」
- ・研修会「スムーズな競技会運営とはⅡ」
都水泳協会・競技委員長 藤森克悦氏
- ・高島平月曜教室20年継続2名、10年継続
4名表彰
- ・38回日刊スポーツロードレース大会、city
マラソン走路員派遣

第 66 回

2014

- ・研修会「普通救命講習」
- ・第68回都民体育大会水泳競技会
男女ともに総合優勝
- ・志村消防署より感謝状
- ・研修会「水泳大会をスムーズに進行させる
には」都水泳協会常任理事 藤森克悦氏
- ・高島平月曜日教室 10年・20年継続表彰
- ・第 67 回区民体育大会水泳競技会
478 名・36 団体参加
- ・第 39 回日刊スポーツロードレース大会

第 67 回

2014

- ・研修会「中高年を対象とした泳ぎに繋げる水中運動」
- ・(財)体育協会賀詞交歓会にて「飯田金廣賞」受賞

2015

- ・27年度総会、登録数 71 名
- ・第 69 回都民体育大会夏季水泳競技会 男女ともに 4 位入賞
- ・板橋区北区交流小学生記録会 赤塚体育館にて。板橋区 121 名、北区 152 名参加
- ・第 68 回板橋区民体育大会水泳競技会兼学童水泳大会 赤塚体育館プールにて
- ・月曜日教室 10 年継続者表彰者 1 名
- ・第 1 回研修会「初心者水泳指導の共通理解」講師・藤枝弘子理事
- ・第 2 回研修会「普通救命救急法」志村消防署にて
- ・第 3 回研修会「トラブルのない水泳指導」講師 弁護士 高松政裕氏
- ・第 4 回研修会「短水路における水泳大会をスムーズに進行させるには」講師 東京都水泳協会競技委員長 藤森克悦氏
- ・第 5 回研修会「中高年を対象とした泳ぎにつながる水中運動」講師 筑波大学名誉教授 野村武雄氏

第 68 回

第 31 回 リオデジャネイロ五輪

- 萩野 公介 400m個人メドレー 金
- 200m個人メドレー 銀
- 金藤 理絵 200m平泳 金
- 坂井 聖人 200mバタフライ 銀
- 瀬戸 大也 400m個人メドレー 銅
- 星 奈津美 200mバタフライ 銅
- 男子 4×200mリレー 銅
- (萩野公介・江原騎士・小堀勇気・松田丈志)
- シンクロチーム 銅
- シンクロデュエット 銅

2016

- ・第 69 回板橋区民体育大会水泳競技会兼学童水泳大会 赤塚体育館プールにて
- 区分増加 壮年の部 70 歳以上、小学3の部
- ・熊本県・大分県震災発生
- ・会長に「菊地 梢子氏」就任

第 69 回

2017

- ・若林清名誉会長が、板橋区スポーツ功労賞受賞
- ・藤枝弘子氏が、体育協会表彰(功労賞)受賞
- ・板橋区民体育大会兼板橋区水泳連盟創立60周年記念大会、赤塚体育館室内プールで開催
- ・創立60周年記念式典、祝賀会をグリーンホールで開催
- ・第1回研修会「指導の基本確認」
- ・第2回研修会「基本姿勢の作り方」
- ・第3回研修会「スタート・ターン指導法」
- ・第4回研修会「練習の組み立て方」
- ・第5回研修会「普通救命講習」
- ・第6回研修会「背泳ぎの導入」
- ・第7回研修会「平泳ぎの導入」
- ・第8回研修会「競技役員の役割と任務」
- ・第9回研修会「バタフライ導入」
- ・第10回研修会「飛び込み導入」
- ・第11回研修会「指導員の基本確認『指導員の共通理解作り』」
- ・第12回研修会「スタート・ターン指導法」
- ・第13回研修会「基本姿勢の作り方」
- ・第14回研修会「練習の組み立て方」
- ・第15回研修会「背泳ぎの導入」
- ・第16回研修会「平泳ぎの導入」
- ・第17回研修会「飛び込み導入」
- ・第18回研修会「バタフライ導入」

第70回